



平成 27 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社キムラタン
代表者名 代表取締役 浅川 岳彦
(コード番号 8107 東証第 1 部)
問合せ先 常務取締役 木村 裕輔
(電話 078-332-8288)

平成 27 年 3 月期 個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

平成 27 年 3 月期 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日) の通期個別業績につきまして、前期実績との差異が生じたのでお知らせいたします。

1. 平成 27 年 3 月期通期個別業績との差異

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当 期 純利益	1 株当たり 当期純利益
前 期 実 績 (A)	百万円 4,661	百万円 25	百万円 14	百万円 6	円 銭 0.01
当 期 実 績 (B)	4,639	37	29	18	0.02
増 減 額 (B - A)	△22	11	14	12	—
増 減 率 (%)	△0.5	46.3	98.5	193.2	—

2. 差異の理由

売上高は、販路政策の見直しにより、昨年 3 月に総合スーパー卸販売の休止したことや、専門店向けの夏物受注が低迷するなどの減少要因がありましたが、BOBSON ショップを中心とする新店の積極的な展開に加え、ネット通販が堅調に推移、専門量販店との取引が大幅に増加したなどの増加要因があり、前年同期比 0.5%減となりました。

売上総利益率につきましては、円安による押下げ要因がありましたが、コスト抑制に向けた取組みの成果に加え、リテール事業の構成比が高まったことにより、前年に対し 2.3 ポイント増加の 49.4%となり、売上総利益額は前年同期比 4.5%増となりました。販売費及び一般管理費は、新規店舗出店による販売員人件費や家賃等の増加があり、同 4.0%増となりました。

以上の理由により、営業利益、経常利益は、当期純利益ともに、前期実績を上回ることとなりました。
なお、連結業績につきましては、本日公表の「平成 27 年 3 月期決算短信」をご参照ください。

以上